

写真で振り返る 愛星保育園

AISEI Memories

聖劇の歴史

白黒
(主に1970年代~)



現在、愛星保育園に残っている一番古いクリスマス関連の写真です。当時は、クリスマス祝会（聖劇）とお楽しみ会の二部形式で行っており、聖劇は年長児のみで行っていました。突然の天使の出現に、羊飼いが驚いている様子が写真からも伝わってきます。

旧園舎~仮園舎
~新園舎
(1990年代~2000年前半)



旧園舎



仮園舎



新園舎1年目

山田洋子先生が1992年（平成4年）に園長として来てくださった翌年から、今の形のオペレッタ（音楽劇）になりました。言葉で表現するのは、ちょっと難しく照れてしまう子ども達も、歌になるとのびのびと元気に表現する姿が印象的な愛星保育園の聖劇が、ここから始まりました。



アドベント礼拝



目黒カトリック教会
(2006年~2008年)



2003年2月から新園舎となり、園児数の増加に伴い「2階保育室では狭いのでは？」という意見も出てきました。この3年間は、以前から教会訪問で伺っていた目黒カトリック教会のご厚意により、聖堂をお借りして聖劇を行っています。厳かな雰囲気の中、広い場所でも多くの方に見て頂ける機会となりました。

新園舎
(2009年~現在)



広さ、雰囲気など教会で行う良さはたくさんありましたが、いつもの園舎とは環境が違うため乳児組の参加が難しくなりました。そこで、“イエスの誕生を全園児でお祝いする”という本来の意味を大切にしたいという思いから皆が慣れ親しんでいる園舎で再び聖劇を行うこととなりました。保育室の狭さを補うために、2010年よりプロジェクターによる別室での生中継も行っています。

旧園舎
(主に1980年代~)



乳児組の午睡室を舞台にして行っていました。舞台上に観客席があり、大道具や小道具もたくさん増えています。まだ、オペレッタ（音楽劇）ではなく普通の脚本劇として行っていたようです。現在は職員が行っているナレーターも、この頃は子ども達が舞台上に立ち進み役をつとめていました。